

# ほし み 星を見よう!

2022年8月号

No.284

2022年8月6日

しろい しぶんか

白井市文化センター・プラネタリウム

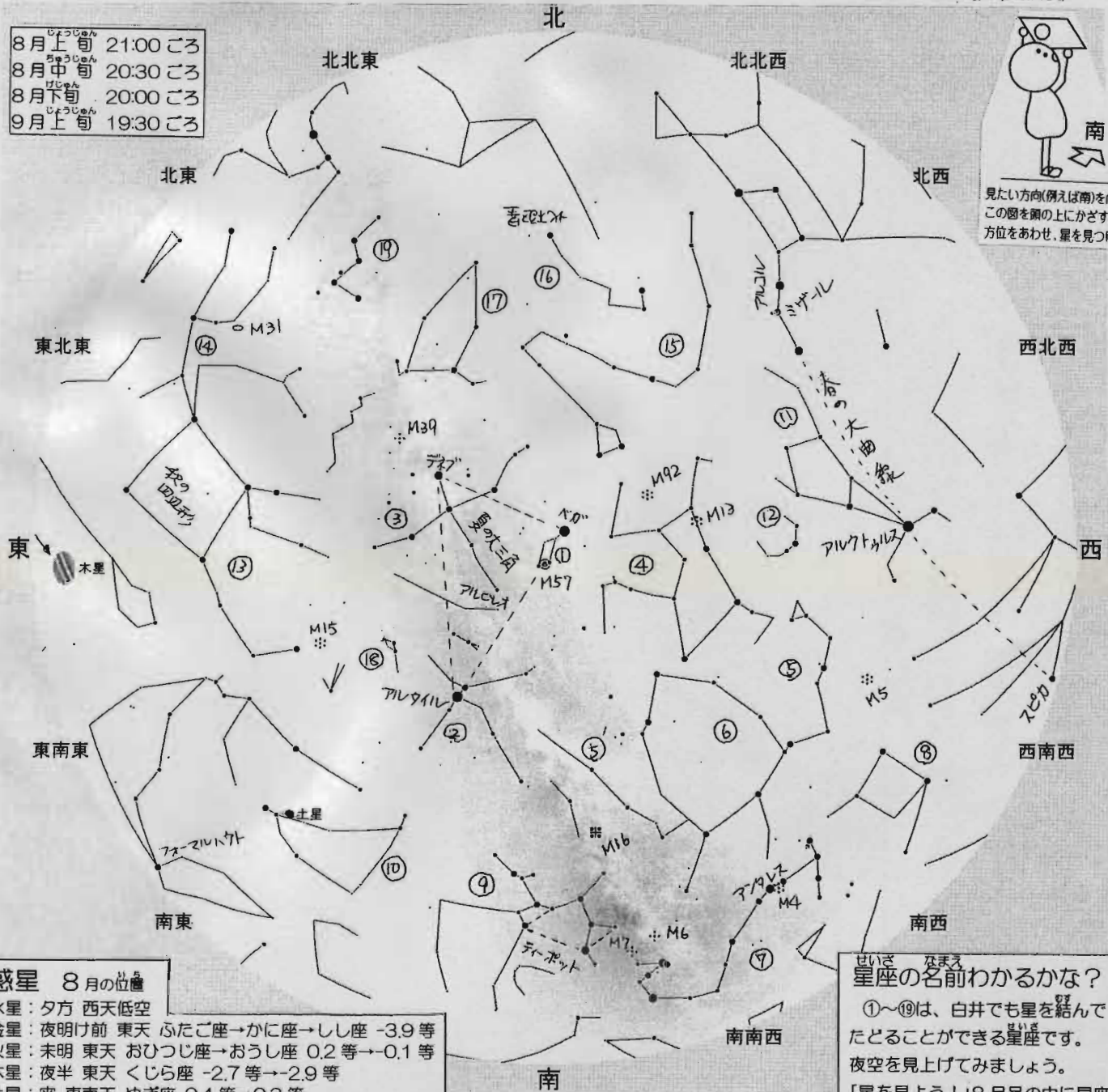
〒270-1422 白井市復1148-8

TEL047-492-1125 Fax047-492-8016

e-mail: planet@center.shiroyi.chiba.jp

URL: <https://www.center.shiroyi.chiba.jp/planet/>

8月上旬 21:00 ごろ  
8月中旬 20:30 ごろ  
8月下旬 20:00 ごろ  
9月上旬 19:30 ごろ



**惑星 8月の位置**  
 水星：夕方 西天低空  
 金星：夜明け前 東天 ふたご座→かに座→しし座 -3.9等  
 火星：未明 東天 おひつじ座→おうし座 0.2等→0.1等  
 木星：夜半 東天 くじら座 -2.7等→-2.9等  
 土星：宵 東南天 やぎ座 0.4等→0.3等

星座の名前わかるかな?  
 ①～⑯は、白井でも星を隠して  
 たどることができる星座です。  
 夜空を見上げてみましょう。  
 「星を見よう!」8月号の中に星座  
 名のヒントと答えがあります。

◆マスク着用とドーム入場前に手指消毒をお願いします  
 土曜日・日曜日・月曜日以外の祝日・夏休み中の水曜日～日曜日  
 ☆ロイヤルアワー 子ども向け 11:30 ほくたち惑星8きょうだい 8/31(水)まで  
 「惑星8きょうだい」と「ヘルクレス」の前半の星空解説は生解説です 天文博士をめざそう!月クイズ 9/3(土)から  
 ☆アストロアワー 一般向け 15:00 ヘルクレス座物語 それぞれの放映時間 約45分間  
 上記放映料金：市内大人280円 高校生以下110円 予約不要  
 市外大人350円 高校生以下160円 放映開始時刻30分前から券売  
 ☆星を見る会 要予約 対象：小学生以上(小学生は保護者同伴) 小学生未満は受付不可  
 9月10日(土)18:30 約75分間 申し込み期間：8月20日～25日(必着) 定員30人  
 ハガキかメール申し込みです。詳細はホームページ等を参照してください。 超えた場合は抽選  
 ドーム内で解説後、実際の空で星座を探し、望遠鏡で月、星団 他を観望  
 大人200円 高校生以下 無料 雨天曇天の場合はドーム内で約45分間の星空解説のみ  
 ☆プラネタリウムの休館日 毎週月曜日と年末年始 臨時休館 10/22(土)・23日(日)

**スターウィーク 2022**  
**8月1日～7日**  
 今年のキャッチコピー  
 「あなたと同じ星が見えたら、しあわせ」  
 毎年8月第1週がスターウィークです。今年はスターウィーク中の8月4日が伝統的七夕(旧暦七夕)です。  
  
**STAR WEEK**  
 Aug. 1st-7th  
<http://www.starweek.jp>

よい てんちよう  
**宵の天頂にヘルクレス座**

白井プラネ、久々のオート番組  
土・日・夏休み中の水～日 15:00 放映中

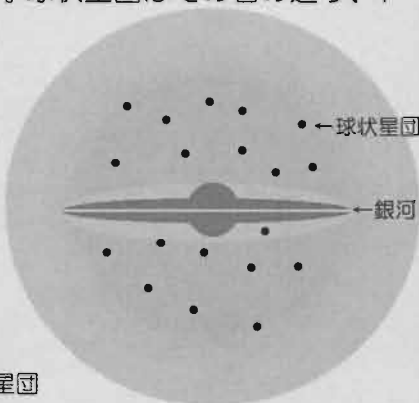
7月号からの続き

ヘルクレス座には有名な天体 M13 のほかにも小型望遠鏡で見ることのできる M92 球状星団があります。球状星団はその名の通り、ボール状に恒星が集まり、銀河を取り囲む

ように位置します。球状星団は銀河の誕生とほぼ同じころ、誕生したといわれ、年老いた星が多く見られます。

私たちの天の川銀河には約 150 個の球状星団があります。

右の図 側面から見た銀河の模式図  
銀河を取り巻く「●」が球状星団



こんき どせい わ かたむ  
**今季の土星 環の傾き**

写真提供 2021年 平野 岳史  
2022年 石川県柳田星の観察館「満天星」

2021年



2022年



地球から見ると土星の環は毎年傾きが異なり、これからますます増々細くなっていきます。

ざりゅうせいぐん まんげつ  
**ペルセウス座流星群 今年満月**

毎年8月12日～13日がピークのペルセウス座流星群。今年は一晩中、月明りがありますが、ペルセ群は明るい流れ星が多いので、満月に背を向けたり、屋根などで遮ったりして、直接、満月を見ないように、夜空を見上げましょう。また、今年夜明け前、東から南、西にかけて惑星がずらりと並びます。流れ星と惑星の両方が楽しめます！

うちゅうぼうえんきょう がぞうこうかい  
**ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡 ついに画像公開!**

下の写真はイータカリーナ星雲。日本から見るのは難しい南天の天体です。左がハッブル宇宙望遠鏡(HST)、右がジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡(JWST)です。HSTも私たちを十分に魅了してくれましたが、JWSTは期待通り(以上!)にヴァージョンアップされています。この紙面の白黒写真でも、両者の違いがわかりますが、NASAのホームページなどで実際のカラー写真を拡大して細部をご覧ください。

しかし、写真発表と同時に、心配なニュースも報道されました。微小隕石がJWSTの鏡に衝突し、18枚の鏡のうちの1枚にダメージが与えられたとのこと。NASAは、その影響はゼロではないが、微小隕石の



衝突に耐えられるようにJWSTを設計しており、鏡を保護する操作も可能だ、とのこと。

イータカリーナ星雲 (りゅうこつ座) 左: HST 右: JWST 写真提供: NASA, ESA, CSA, and STScI

じゅうせいれんせいいてんたい  
**今月の見どころの重星連星天体**

**アルピレオ(はくちょう座)**

くちばしの星。オレンジ3等と青5等の星が寄り添うように輝きます。

こと座 ε 星 **ダブルダブルスター**

双眼鏡では二重星、望遠鏡で見ると四重星。二重星(ε 1、ε 2)のそれぞれがさらに二重星。ε 1は5.0等と6.1等、ε 2は5.1等と5.4等の連星系。

**いるか座 γ 星**  
黄色の4.3等と青色の5.2等の二重星。

**ラスアルゲチ(ヘルクレス座)**

大きさが太陽の約800倍といわれている赤色巨星。連星で、5.4等の伴星があります。

**しろいメール配信サービスに登録しましょう**

下のQRコードで登録してください。イベントの前にメールが届きます。

- ◎コンサート情報
- ◎イベント講座情報
- ◎文化センターイベント情報

